



▲岩手県宮古市の堤防を越え押し寄せた津波

平成23年3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源とする、マグニチュード9.0、最大震度7という国内観測史上最大の大地震が発生しました。
未曾有の被害をもたらした東日本大震災の爪痕は、今なお被災地に残っています。
人々から震災の記憶が少しずつ薄れている今、震災への備えについてもう一度考えましょう。

東日本大震災後における町の防災に対する取り組み

- 震災後 町内各地区において安否旗等を導入
- H23.6 津波に対する避難訓練がスタート（現在は津波土砂避難訓練として実施）
- H23.9 津波避難ビルの指定開始
現在までに町内16か所（津波浸水想定区域内12か所）を指定
- H23.10 町内122か所に海拔表示板を設置
- H24.2 運動公園に防災用備蓄倉庫を設置
- H27.5 大磯町津波浸水想定図を公表
- H27.6 大磯町Twitter公式アカウント「大磯町防災生活情報」を開設
- H27.10 大磯町防災生活情報メールを導入
- R2.4 おおいそ防災・行政ナビ（Lifevision）を導入
- R3.8 県から津波災害警戒区域の指定を受ける
- R3.12 津波災害警戒区域の指定に係る住民説明会の実施 など



安否旗を確認しましょう

お住まいの地区ごとに、安否確認用に決まった安否旗（または、黄色いタオルで代用など）があります。安否旗の掲出の有無は、「無事」や「助けが必要」といったメッセージを伝える手段です。

災害時に地区の防災担当者が、安否旗の確認しながら地区を回ります。安否旗の掲出が無いと、「助けが必要」というメッセージとして受け取るため、声掛け等による安否確認が必要になるなど、時間を要することになり、本日に救助が必要な人に当てるための時間が短くなる恐れがあります。

そうならないためにも、日頃から安否旗の保管場所や掲出場所を確認し、いざというときに、すぐに掲出して避難ができるよう準備をしておきましょう。

「安否旗がない」、「掲出場所がわからない」など、お困りごとがある場合は、お住まいの地区の防災担当者に相談しましょう。



～釜石の奇跡～

東日本大震災で津波が襲った岩手県釜石市では、避難行動が津波からの被害を最小限に食い止め、小・中学生の生存率が99.8%もあったことから、「釜石の奇跡」といわれています。



▲津波が押し寄せる釜石市内の様子

特に津波の被害が大きかった鶴住居地区では、東日本大震災の地震発生直後、釜石東中学校の生徒達がすぐに学校を飛び出し、近所の鶴住居小学校の児童に声を掛けながら高台をめがけて走り出しました。

鶴住居小学校の児童や先生達もあとに続き、さらには多くの住民もそれに続いて高台をめざしました。

安全な場所に辿りついた。その時、背後では巨大な津波が学校や町を飲み込んでいたそうです。



▲釜石東中学校の生徒たちが小学生や園児の手を引いて避難する様子

釜石市では約1,000人以上の方が亡くなりましたが、市内の小・中学生約3,000人は、全員無事に避難することができました。

子どもたちが率先して避難し、多くの命が救われた話は「釜石の奇跡」として多くの人に知られています。



▲津波が去った後の釜石東中学校

～奇跡の背景には～

釜石市は過去に明治三陸地震大津波（1896年）、昭和三陸地震大津波（1933年）、チリ地震津波（1960年）と、三度も大津波に襲われているという歴史的背景があります。

三陸地方には『いのちでんこ』という言い伝えがあります。「津波が来たら、家族がてんでバラバラでもとにかく逃げろ」という教訓です。

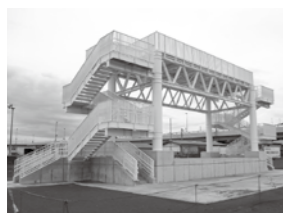
このような背景から、海岸のすぐ近くにある釜石東中学校の生徒は、日頃から、いつ起きてもおかしくない地震と津波に対する防災訓練に真剣に取り組んでいたそうです。



▲釜石東中学校と鶴住居小学校の合同訓練の様子

海岸近くで地震を感じたら

沿岸部にいるものが高台までが遠く、津波が襲い掛かるまでに避難が間に合わない場合、「津波避難タワー」を活用しましょう。



▲北浜海岸の津波避難タワー



津波避難ビル



津波避難場所

津波避難ビルの見直しを進めています

町は、昨年の8月に県から津波災害警戒区域の指定を受けたことにより津波の「基準水位」が公表され、浸水深+建築物等への衝突によるせき上げ高がわかり、津波避難ビルの指定に必要な高さが増加されました。

このことに伴い、現在、町内にある津波避難ビルの高さや耐久性を再確認するとともに、新たな津波避難ビルや津波避難場所の選定をあわせて検討しています。

スマートフォン・タブレットで簡単に情報確認！

○おおいそ防災・行政ナビ（Lifevision）

防災行政無線の放送内容や防災、くらしに関わる様々な情報を配信します。



GooglePlay



AppStore

防災情報をメールで再確認！

○大磯町防災生活情報メール

防災行政無線の放送内容や、気象庁発表の気象警報、町からの防災に関する情報を配信します。

▶登録方法

bousai.oiso-town@raiden2.ktaiwork.jp に空メールを送信

※二次元バーコードを読み取ると、空メールの送信画面に移ります。



非常用持ち出しバッグの準備はしていますか？

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

- 飲料水、食料品（カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
- 貴重品（預金通帳、印鑑、現金（硬貨）、健康保険証、マイナンバーカードなど）
- 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬、おくすり手帳など）
- ヘルメット、携帯トイレ、懐中電灯、マスク、軍手 など

避難時にすぐに持ち出せるようにバッグを玄関に置いておきましょう！

